

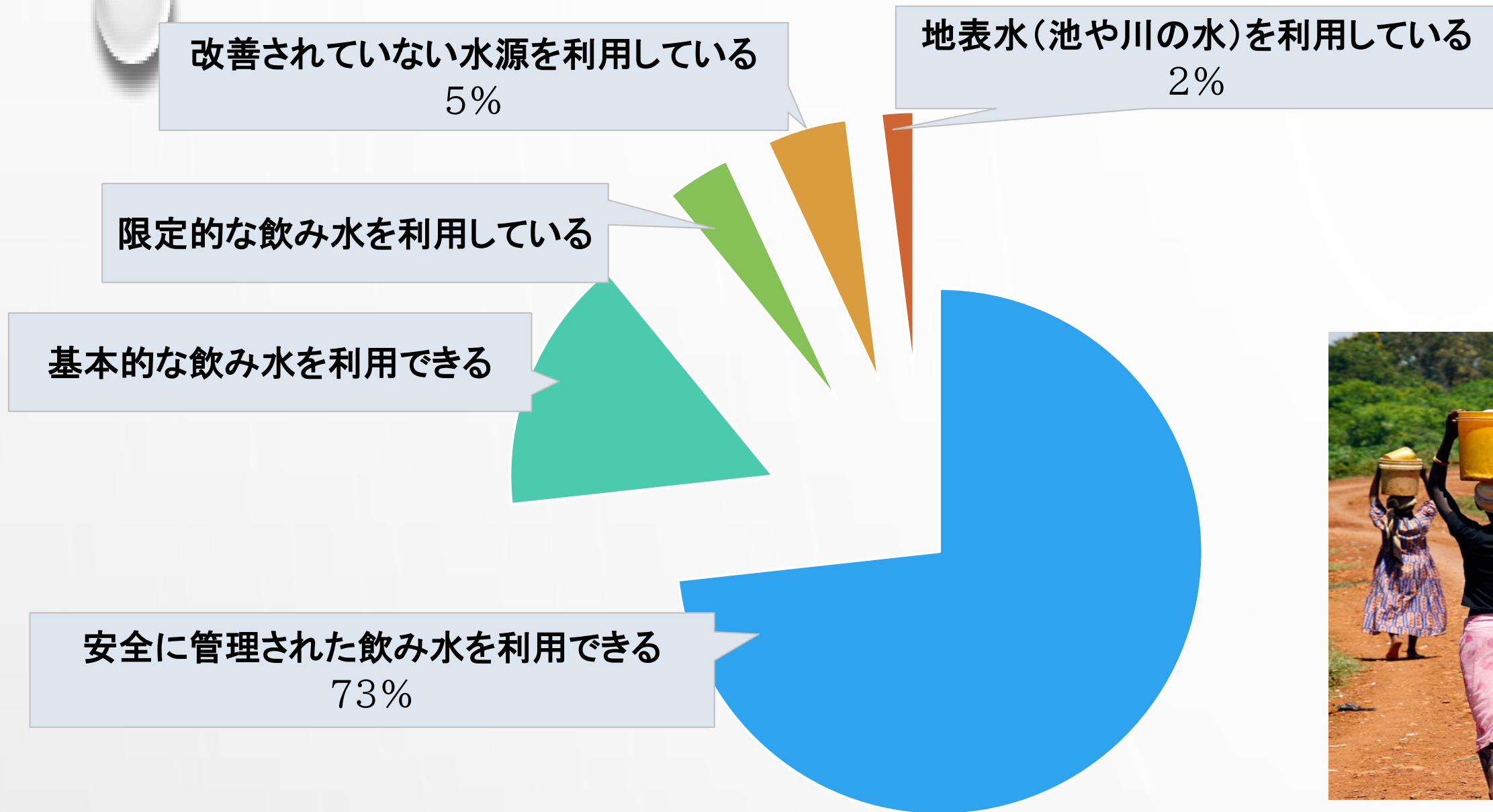


蛇口をひねれば飲み水が出る これって普通なの？

☆POINT☆

- すべての人が安全な水と衛生的な環境を使えるようにする
- 限りある水資源を将来にわたって使うための取り組みを進める

世界の人々の、飲み水へのアクセス状況
(2020年時点)



世界の1/3が
安全な水を
求めている

UNICEF/WHO「Progress on household drinking water and sanitation and hygiene 2000 - 2020より」

- 世界では今、毎日**800人**もの子どもが汚れた水や不衛生な環境が原因で命を落としています。
- 水道設備が整っていないため、動物の糞尿や細菌の混ざった水を飲まなければならないのです。
- 水やトイレを確保できない地域では石鹼が普及していないため、細菌等の汚れを落とせず、**感染症のリスク**が高まります。
- 水汲みは主に**女性や子供**の仕事となっており、生きる上で欠かせない生活水を確保するために、多大な時間を日々費やしています。その時間が無くなれば、子供は学校に通うことができ、十分な教育を受けることができますようになります。
- そもそも気候変動等による**水不足**が深刻で、十分に水が供給されていない地域もあります。

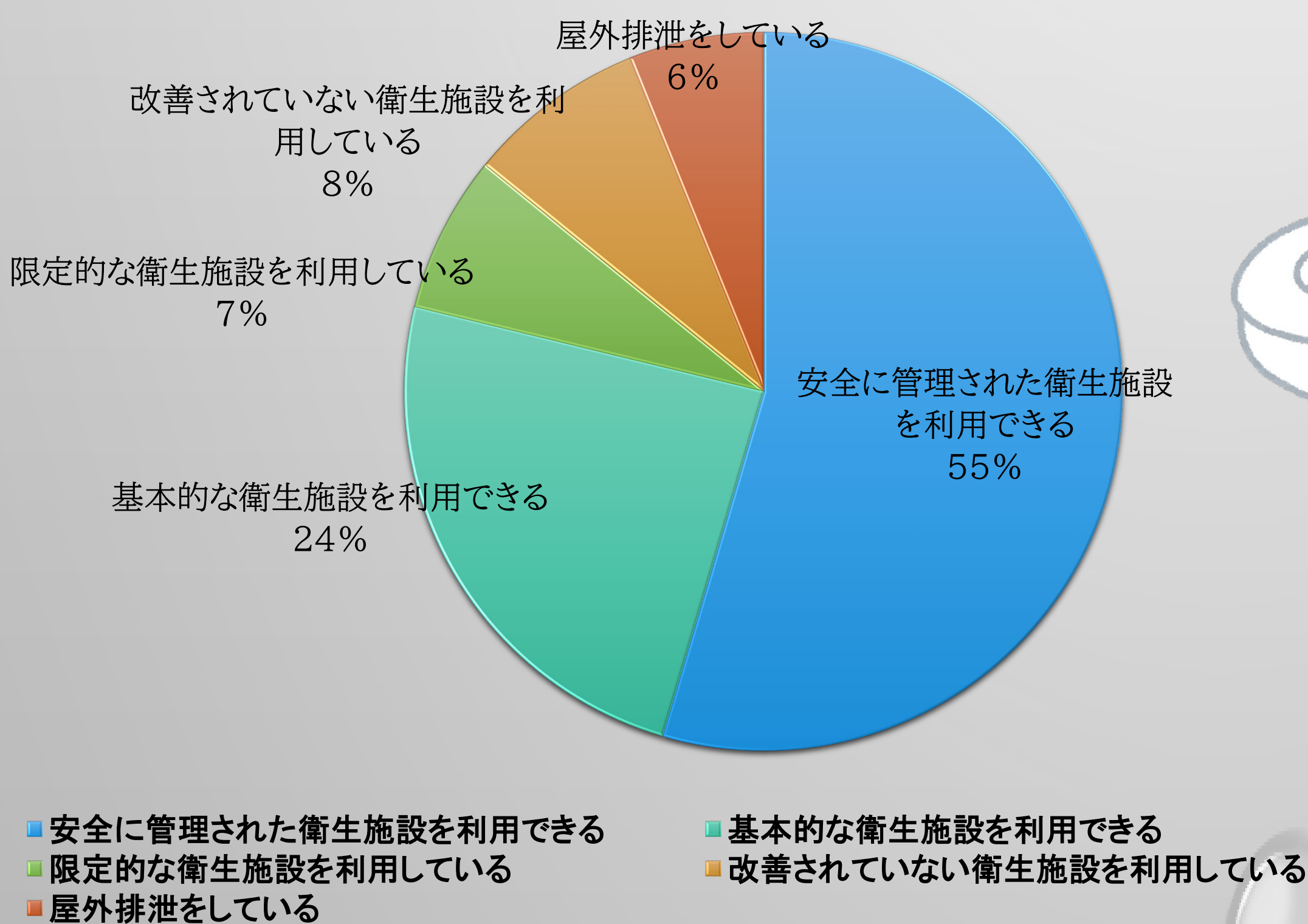
日本の取り組み

- 水質の向上や水の有効利用
- ウォーターエイド(水・衛生管理に特化したNGO団体)が現地に合った技術を用いた給水設備やトイレを設置
[妹の命を奪った水 | 水・衛生専門の国際NGO ウォーターエイド \(wateraid.org\)](http://wateraid.org)
- 日本ユニセフ協会による給水設備やトイレの設置 [水と衛生 | ユニセフの主な活動分野 | 日本ユニセフ協会 \(unicef.or.jp\)](http://wateraid.org)
- 少量の水で流せるトイレの開発

私たちにできること

- 自分の1日の水の使用量を可視化
- 安全な水を使い続けられるように節水を心掛ける
- 募金して水道設備に必要な資金を支援

世界の人々の、衛生施設(トイレ)へのアクセス状況
(2020年時点)



- 世界中の**42億人**が、安全に管理された衛生施設(トイレ)を使用できていません。
- 感染症の拡大、プライバシーが守られていない野外での排泄等の問題を解決するには、いち早く世界のすべての人々にトイレが行き渡らなければなりません。

UNICEF/WHO「Progress on household drinking water and sanitation and hygiene 2000 - 2020より」

日本のあたりまえを世界に届けよう